

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

東京グリーン

CHARTERED 1973

< 2021.10 >

BULLETIN

2021年7月～2022年6月



国際会長 キム・サンチュエ「Y's Men with the World」 「世界とともにワイズメン」(韓国)
アジア太平洋地域会長 大野 勉「100年を越えて変革しよう」(神戸ポート)
東日本区理事 大久保知宏「私たちは次の世代のために何ができるか?」(宇都宮)
関東東部部長 大澤和子「私の地域から世界に広げよう青少年を支えるワイズの輪・和・ワッ!」(所沢)
クラブ会長 樋口順英「力まず、愉しく、安全・安心」(東京グリーン)

会 長 樋口 順英
副 会 長 青木 方枝
書 記 布上征一郎
会 計 青木 方枝
監 事 柿沼 敬喜
担当主事 木村 卓司

10月 収穫感謝祭

わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからです。(ヨハネによる福音書 15章5節)

<それぞれが豊かに実ったブドウの木の枝であり、それぞれが与えられたワイズの業をなしてゆくことが大切である>

2021年10月例会

CS事業 神田川船の会 再開!!



Zoom オンライン例会

日時:2021年10月20日(水) 15:00～17:00

Zoom ホスト:司会布上君

開会点鐘 樋口 会長
ワイズソング・ワイズの信条 全 員
聖句・お祈り 西 澤 君

神田川船の会～再開に関して～

<10/14 昌平小学校課外授業を再開して> 柿沼

～クルーズ 10分動画をご覧ください～

<10/23 神田川 秋の特別乗船会を開催> 目黒

～台風とコロナで2年半も休みました～

クラブ、部、区 全般報告 樋口 会長
YMCA 情報 木 村 君
Happy Birthday(高谷メン・柿沼メネット・古平メネット)
計3名
閉会点鐘 樋口 会長



暫く中断しておりました東京グリーンクラブのCS事業「神田川船の会」はコロナ禍などの様子を見ておりましたがこの10月から再開することになりました。

まずは今迄毎年行われている昌平小学校の課外授業としてのクルーズを10月14日、秋葉原の和泉橋船着き場から午前、午後、2回航行しました。グリーンのガイド3名、スタッフ2名が乗船、久しぶりの「船の会」を楽しみました。

(詳細は3pに柿沼メンが報告)

さらに、10月23日(土)は粹人丸1艘で定員を半分の27名としてワイズの仲間をお誘いしての乗船会です。

(この詳細は11月ブリーチンに掲載) (布上記)

【例会出席率】 在籍:16名 メーキャップ 0名 出席率 11/16 69%

出席: 9月 ZOOM オンライン例会 (メン 11名、メネット1名、ビジター1名) 計13名

【ニコニコ】 9月 ZOOM例会で献金無し

2021年09月 第一例会報告



2021年9月15日(水)ZOOMにて 15:00-17:00 オンラインでの例会開催。参加者はビジター・久保田貞視メン(八王子クラブ)、クラブ出席は青木、浅見、柿沼、木村、古平、佐野、高谷、布上(征)、西澤、樋口、目黒、各メンと、布上(信)メネット、の計13名。

今月のメインテーマとして、オリンピック・パラリンピックが



無事に終了したことに感謝し、この記念すべき大事業に、フィールドキャスト・ヴォランティアとして参加し、パラリンピックの成功に大いに寄与された佐野メンにたっぷりお話を伺おうという事にした。

また、コロナによって国外のお客が来ないことになり、シティキャスト・ヴォランティアの契約をされていたが、ご活躍されることなく、当てが外れた方、そう、久保田メン(八王子クラブ)が本日この例会にゲスト参加された。ワイズでは利根川恵子さんもご活躍され、西村さんもゴルフ会場のヴォランティアなどで楽しまれたとの事。

話は昔の神田YMCA時代のことも及び、そのYMCAのプールで両手の不自由な方に泳ぎを指導されていたのが吉崎勇さん(千葉ウエストクラブ)で、そのことが障がい者スポーツ支援の始まりになった、と佐野メンのお話。

今日の例会の重要議題として、今後の「神田川船の会」の取り組みについて、現状のコロナ禍の元では何も確定することは難しいが近い将来を見越して準備をする必要がある。目黒実行委員長から「コロナの状況」について東京都のコロナ関連資料、政府の出しているデータを要領よくまとめたものを皆に提示、解説をしながら、これからの対応を検討した。

恒例、昌平小学校の課外授業としてのクルーズは学校からの要望もあり、状況が許せば早めに決めていきたい。さらにグリーンクラブの「ガイドスキル維持研修」の意味もあって早めに特別乗船会を企画したい。この2件の検討をすすめた。

緊急事態が9月末で終わると仮定して、10月14日ごろに昌平小学校の乗船会、またその翌週10月23日(土)に特別乗船会を予定して計画を進めることになった。

10月チャリティーウォークのクラブ参加者は樋口会長が引き受ける事になった。木村主事からの報告を承諾。

今日は久しぶりと言うより、初めてZOOM例会に参加された高谷メン、古平メン、10月もぜひ、お顔を見せてください。宜しくお願い致します。

(布上 記)

2021年10月 第二例会報告



2021年10月13日(水)ZOOMによるオンライン役員会
出席は上記画面の佐野・布上・青木・西澤・樋口・木村

目黒・柿沼の8名

1) 昌平小学校校外学習クルーズは、10/14(木)開催することになった。(柿沼)

柿沼メンのガイドサポーター用連絡事項をご参照。

《画面共有》

2) 10/23(土)神田川船の会「秋の特別乗船会」

1艘のみで、定員27名確定。

(目黒)

参加者名簿作成中(布上)

チラシ他、開催要領をご参照。

《画面共有》

3) 神田川船の会小冊子リニューアルの提案

(目黒・早瀬・布上)

現在の小冊子は、2016年2月1日改訂第9版で、改訂以来5年8か月経過したので見直しをおこないたく提案します。クラブとして担当委員を決めて取り組みたく、前回編集に別冊、東京湾コースの編集にも携わった方々をお願いしたい。

(目黒)

4) 2021年度東陽町クリスマスオープンハウス12/12(日)

実施にむけて協力金の要請があった。(1万円)

クラブから模擬店の出店はなしと決定。(青木)

5) 10/20の例会は Zoom に決定。15:00-17:00

6) 11/17の例会は東陽町でリアル例会を予定

樋口会長の紹介によるゲスト・スピーカーを依頼。

無名俳優 氷室幸夫さんによる講演

「声だし健康法」と「外郎売」・・・ご都合を打診する。

7) 11月20日第2回関東東部評議会

Zoom開催 / (10/23の神田川を10分動画で共有!)

*急遽 MSのフォト・アプリを使って静止画・動画編集をしてビデオ作成の勉強を開始(布上)

8) 12月クリスマス例会 リアル会を希望

例年通りの食事会か?

9) ワイズ・ナイトフォーラムを Zoom で開催。

今月は、10/24日に開催致します。

知人、友人、仕事の関係の方を誘い奮って参加を。

10) その他 10月チャリティーウォークの件

樋口会長が参加 確定

スマホへのアプリインストールを確実に。

(布上 記)

コロナ禍でのCS事業（昌平小学校船上学習）
の実施報告



（小名木川の万年橋、江戸時代の絵画を見せて・・・）

去る10月14日に3日ぶりの晴天の中、CS事業として40年間継続している「神田川船の会」の一環である地元の小学生（昌平小4年生）への課外船上学習をコロナ禍の中ですが、昨年に引き続き今年も実施することが出来ました。

昨年は、一度は、学校から「今年は中止」とのことでしたが、間際になり4年生担任の先生から「コロナ禍の中、多くの行事が中止になっている。生徒達のために船上学習だけでも何とか出来ないか」との連絡を受け、急遽、クラブから感染対策として、①乗船客数は50%以下とする、②乗船者全員のマスクの着用（先生、船長も含む）③乗船時の手洗い消毒の励行④ガイド以外の黙乗等の事項を学校関係者や船宿に要望し、当日は船を午前便だけでなく午後便も出航させて乗船する生徒数を50%以下に抑さえ、座席の間隔を空けて実施しました。

なお、その後の授業では、生徒達は地元を流れる川に関心を持ち、かつて「死の川」と言われた神田川について先生の指導もあり「生命復活プロジェクト」のもと、神田川の歴史を学び、以前の清流に戻したいとの思いから「チラシ、ポスター、替え歌など」までも作成して、クラブにもその作品集が送られてきました。

9月になり新年度の担任の先生から今期も是非実施したいとの連絡があり、クラブとして昨年の要望事項に加えて生徒児童への感染防止策として新たな事項①船上学習の実施時期は緊急事態宣言解除後とする②乗船するクラブのメンバーと学校関係の引率者もワクチン2回接種完了者とする等）をお願いしました。

また、事前授業（10/7実施）に出席して、生徒一人一人に、水の大切さと川の役割、周遊コースおよび事前の準備や当日の乗船中の注意事項を記載した資料を配布・説明し、なお、各生徒の父兄には、理解を得て貰うために「神田川船の会のガイドブック」を一読するよう配布をお願いしました。

（クラブからの参加者：樋口、青木、布上、目黒、柿沼の各々 計5名）



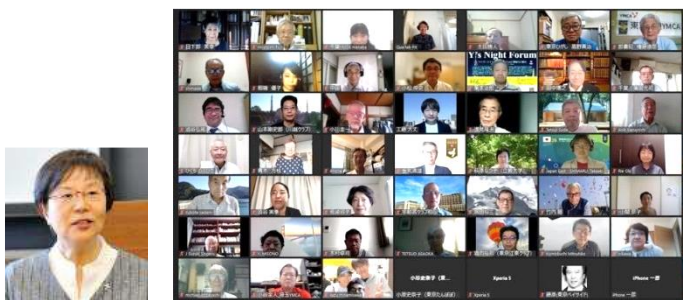
（立派に改築された「常磐橋」は本当に見事でした）

（柿沼 記）

第25回 関東東部大会 オンライン開催
2021年10月2日（土）第25回 関東東部大会がZOOM
オンラインで行われた。



画像は参加者（数名はダブっています）



第1部 記念講演（13:30～14:30）

司会：関東東部大会実行委員長 小関 京子

講演：人生100年時代を生き抜くために
～今あなたにできること～

【講師】立教大学教授 萩原なつ子 氏
立教大学社会学部教授、立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授、文部科学省中央教育審議会委員。萩原なつ子教授は、「としまF1会議」を通して、豊島区を、「消滅可能性都市」への挑戦！・・・

*素晴らしい行動力に感銘いたしました！！

第2部 部大会（14:40～15:40）

司会：関東東部書記 利根川 太郎

1. 開会点鐘 関東東部部長 大澤 和子
2. 聖書朗読・祈禱 所沢クラブ 澁谷 弘祐
3. 歓迎の挨拶 部大会実行委員長 小関 京子
4. 来賓紹介 司会者 利根川 太郎
5. 来賓祝辞 東日本区理事 大久保 知宏
6. 部長報告 関東東部部長 大澤 和子
7. 部事業主査報告 各事業主査 青木 方枝、
金丸 満雄、吉田 公代、衣笠 輝夫、布上 信子
8. 閉会点鐘 次期関東東部部長 工藤 大丈

第3部 リモート懇親会（15:40～16:40）

*今回のZOOMオンライン部大会に参加して、このコロナ禍ではこのような形式もやむを得ないと考えていたが、実際は大いに盛り上がり、全く違和感なく、楽しく拝聴した。今後もリアル会議に拘らず、ずっとこのようなオンライン会議を大いに活用していくことになると考える。

（布上 記）

10月 Happy Birthday

高谷 禎宣

古平 邦子 ネット 柿沼 澄子 ネット

ワイズの信条「隣人を愛そう」についての雑感

西澤紘一(直前会長)

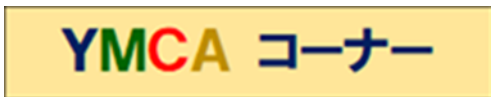


21年度最初の例会時に、ワイズの motto の一条である「自分を愛するように隣人を愛そう」(マタイ 22-39 からの引用)の意味を考えたいとお話した。本来、隣人とはもともと親しい関係がある人、例えば家族、友人、同僚、仲間・・・など私が良く知っている

人のことを意味している。それならわざわざ隣人と言う必要はない。自分の隣にいる人を愛するのはあたりまえだからである。しかし、よきサマリア人の事例が示すように、困っている人、弱い人を自分の隣人として自分にして欲しいように扱いなさいと読めば、納得がゆく。さらに一歩進めると、隣人とは、時にして裏切ることもあり、ため口をたたくこともあり、嫉妬の対象になることさえある。したがって、自分が良き隣人と思っている人こそ、どんな艱難があっても愛し続け、信頼し続けることが大切だという教訓としてもとらえたい。太宰治の「走れ、メロス」に描かれたように。

同時に、同じマタイによる福音書の中にイエスの言葉として「汝の敵を愛せよ」(マタイ 5-38)とも記されている。一見矛盾したように思えるが、同じ「人間の弱さ」を裏面からの見た表現であろう。敵を憎むことは当たり前で、危害を加えた相手に復讐したい気持ちは、人間の本能に近い。それに耐えよと戒めているのである。これを実践することは極めて難しい。

アメリカにアーミッシュ派と言うキリスト教の一派がある。聖書の教えを、文字通り守ることを旨としている信徒集団である。ある時、1人の信徒の娘が暴徒に殺されると言う事件が起こった。こんな不幸な事件であっても、その両親は、犯人を赦し捕まった後、援助までしたと言う。まさに「汝の敵を愛せよ」を実践したのである。これには、米国社会でも賛否が分かれたそうだ。



1, 11月10日(水)からはウィンタープログラムの募集が開始されます。御殿場/高尾でのキャンプ、家族対象リポート、スキーキャンプ、デイキャンプ(日帰り遠足)、短期水泳教室、プールスクール、語学プログラムなど。ようやく少しずつではありますが子どもたちの活動も再開し始めております。

2, 経済的な理由でYWCAのプログラムに参加できない子どもたちの参加費を補助する「フレンドシップファンド」から、今夏は計272,855円を支出し、9人の夏プログラム参加費を補助しました。コロナ禍により一層ニーズが高まっていることから、今後も広く寄付を募りファンドを積極的に活用していく予定です。

3, 東京YMCAが長年支援を続けているバングラデシュYMCAが運営するNFPE(働く子どもたちの学校)は

コロナ禍の影響により2020年3月から休校が続いています。東京YMCAはバングラデシュYMCAからの要請を受け、子どもたちの学習とその家族の生活支援のために、国際協力募金から支援をすることとし、募金活動を開始しました。現地では教師が各家庭を訪問し家庭学習をサポートするとともに、生活が困難な家庭には食料品やマスクなどの物資を届ける予定です。また、一昨年からの交流が始まったミャンマーのネピドーYMCAでは「YMCA農村診療所」の活動の延長として、コロナ患者を病院に搬送する救急車プログラムの他、失業者に食料品を配給する活動をはじめたことから、東京YMCAが2,000ドルの支援を行った。

(ネピトYMCA 総
主事ジャクソンさん
と息子)



4, 東陽町コミュニティーセンターでは「私たちの未来が輝くために ~SDGsってなあに?~」を、9月7日(火)から14日(火)までの8日間開催しました。「持続可能な開発目標(SDGs)」に掲げられた17の目標を、子どもたちにわかりやすく説明するため、パネル展示とビデオ上映を行ったほか、自分たちのできるアクションプランを考えてもらいました。参加してくれた子どもたちは150人。それぞれ一生懸命にアクションプランを考えてくれました。例えば「すべての人に健康と福祉」の項目には◆まずいい国の人を助ける◆10円で病院にいける券をつくる◆日本やいろいろな国がワクチンをあげるなど、たくさんのプランが並びました。またSDGsを行動につづすためのビンゴカードを配布。「食べ残しをしなかった」「ゴミ拾いをした」など、カードに書かれた行動を続けてビンゴを完成させた子どもたちには、「SDGsマスター」のメダルがプレゼントされました。



5, 今後の主な行事日程

・「第35回インターナショナル・チャリティーラン」
(スマートフォンアプリを使ったウォーキングイベントとして開催)個人参加:10月16日~22日

チーム参加:10月23日~31日

東京グリーンからは樋口氏が代表として TEAM 東陽町に参加いたします。

(担当主事 木村 記)